

令和6年度 都立小石川中等教育学校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	学習の系統性を重視した言語能力の育成	・年度当初の教科会で年間指導計画について共有、指導事項についての確認をする。 ・6年間を見通した言語能力の育成に関する授業実践	・「思考力・判断力・表現力等」の各領域における学習過程を明確化した授業を実施する。 ・「考えの形成」を重視し、指導事項に取り組む。
社会 地歴・公民	社会的事象について「多面的・多角的な見方」の指導の充実	・社会的諸事象を多面的・多角的に捉えるために有効な教材を開発し、授業を実践する。	・社会的事象を批判的に捉え、既存の見方とは異なる見方ができるようになるような授業の実践する。
数学	主体的・対話的な学びが実現できる数学的活動の充実	・生徒どうしの学び合いや教え合いを促進させる教材を開発する。 ・生徒が興味・関心をもって主体的に取り組むことができる教材の開発と、その教材を用いた授業法を研究する。	・主体的な学びが実現できたかどうかの評価を取り入れた授業を実施する。
理科	SSH指定校として、国際社会でリーダーとして活躍できる科学的素養を育む学習活動の充実	・各科目の専門の教員が1年次より授業を担当し、前期課程で7割以上の授業において実験や観察を取り入れる。 ・課題研究につながるように発展的な内容を取り入れ、「探究の過程」などを重視して指導を行う。 ・理科教員の自由な相互授業参観を実施し、指導力の向上を図る。	・生徒が自主的な研究活動を継続的に行うことができるように実験室や器具などを提供する（オープンラボ）。 ・大学、研究機関と連携してサイエンスカフェやフィールドワークなどを実施する。 ・昨年度より実施されている、5年のAdv.小石川サイエンスを開発・検証・改善する。
英語	4技能5領域の力を総合的に活用できる力及び、主体的、協働的に学ぶ態度の育成	・各学年で毎学期にパフォーマンステストを実施する。 ・各学年でグループ発表、ディスカッション、ディベート等の活動を行う。	・オーストラリアやシンガポールの現地校と交流する。 ・スピーチやディベート、英語劇大会に参加する。